

# 事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅱ-5-1 道路網の整備と維持管理

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 道路建設課長 井田 悦男 電話番号 0852-22-6456

|         |   |  |
|---------|---|--|
| 事務事業の名称 | 地域振興プロジェクト支援のための生活道路の整備   |  |
| 目的      | (1) 対象  | 地域振興プロジェクト実施地域の県民・道路利用者                |
|         | (2) 意図  | 地域振興プロジェクトを支援するとともに、周辺地域の移動時間の改善を図ります。 |
| 事業概要    | 原発特措法に基づく振興計画に位置づけられた道路及び農道事業、河川改修事業など他事業と連携して行う必要のある生活関連道路の整備を行う。<br>原発特措法計画事業箇所：2箇所<br>他事業連携事業箇所：30箇所 |  |

## 2. 成果参考指標

| (1) 成果参考指標 | 指標名  | 地域振興プロジェクト等と連携した事業完了数比率 | 年度   | 23年度        | 24年度   | 25年度   | 26年度   | 27年度  | 単位  |
|------------|------|-------------------------|------|-------------|--------|--------|--------|-------|-----|
|            |      |                         | 式・定義 | 完了工区数/全体工区数 | 目標値    |        | 60.00  | 66.00 |     |
|            |      |                         | 実績値  | 62.00       | 61.00  | 69.00  | 81.00  |       |     |
|            |      |                         | 達成率  |             | 101.70 | 104.50 | 105.20 |       | %   |
| 指標名        | 式・定義 | 年度                      | 23年度 | 24年度        | 25年度   | 26年度   | 27年度   | 単位    |     |
|            |      |                         |      |             |        |        |        |       | 目標値 |
|            |      |                         | 実績値  | 0.00        | 0.00   | 0.00   |        |       |     |
|            |      |                         | 達成率  |             | 0.00   | 0.00   |        | %     |     |

## 3. 事業費

|            | 26年度実績    | 27年度計画    |
|------------|-----------|-----------|
| 事業費(b)(千円) | 1,526,002 | 1,178,327 |
| うち一般財源(千円) | 254,021   | 112,230   |

## 4. 改善策の実施状況

|                     |                        |
|---------------------|------------------------|
| 前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況 | ②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む） |
|---------------------|------------------------|

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- 平成26年度は4工区が完成し、全32箇所のうち26箇所が完成。
- 道路予算が減少する中においても、平成26年度時点の達成率は105.2%で目標値を上回っており、順調に整備を進めている。

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

- 平成26年度完成箇所は、普通河川付替関連 佐田八神線獅子寸後谷工区、ICアクセス関連 斐川上島線上阿宮工区及び、ダム事業関連 黒沢安城浜田線梨木峠工区・大田井田江津線都治工区。
- このことにより、生活道路の整備が図られ、移動時間の短縮が可能となった。

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

### ①困っている「状況」

- プロジェクト及び他事業との連携により道路整備を行うことは、効率良い整備効果の発現のため同調して行うことが求められており、引き続き関係機関との連携を密に行うことが必要。
- 残工区が多く、予算の確保が困難な状況となっている。

### ②困っている状況が発生している「原因」

- 財源となる国の交付金については、個別の事業毎の配分ではなく、大きな枠毎での配分となっており、特別な需要に応じた要求が反映されにくい状況となっていることに加え、近年、既存施設の老朽化対策や通学路の安全対策の分野に厚く配分され、通常の道路改良への配分は低く抑えられる状況となっている。

### ③原因を解消するための「課題」

- 地域の実情に応じた国費の配分。

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- 国に対し地域の実情に応じて予算が配分されるよう丁寧に状況を説明するとともに、国の予算配分方針等を的確に把握し、工夫しながら、必要な予算が配分されるよう要望していく。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

## 9. 追加評価（任意記載）